

令和7年度(第47期)事業報告書

I. 当期の経営概況

令和7年度の労働行政では、少子高齢化による労働力人口の減少、物価上昇を上回る賃上げの必要性、多様な働き方の拡大等のわが国が抱える課題に対し、「賃上げ」「人手不足対策」「リスクリング」「多様な人材活躍」「職場環境改善」の5本柱を中心に総合的に施策を進める方針が発表されています。

富山県内でも各種団体でこうしたテーマやDX関連のテーマについての情報交換が活発な状況となっています。健康診断を主力に提供する当協会としても、人々がいつまでも生き生きと働くことができるよう企業や団体等の健康管理をサポートすることを最大ミッションとしております。

また、多様な人材の活躍促進と職場環境改善に向けた取組みを行っていく上で、厚生労働省が唱える女性の健康課題への対応については、当協会としても今後どのように取り組んでいくか検討するところがあります。

こうした中、当協会では働く人の健康管理や職場のメンタルヘルスの向上を目指し、一般健康診断・特殊健康診断、事後措置のための二次健康診断、がん検診、特定保健指導や労働者の健康保持増進、ストレスチェックや職場環境改善、カウンセリング等を推進。特に胃がん健診では、主に中小企業の受診率向上を図るため積極的な啓蒙活動を行いました。

組織関連では、令和6年4月に新システムが稼働してから2年が経過し、業務プロセスの見直しによる品質向上や納期短縮などの他、職員の働き方改革に一定の成果をあげています。

また、DX化を加速する上で重要成功要因となる要素について協会内外で検討し、北陸三県の医療・福祉業種で初めてのDX認定(経済産業省)の取得につなげることができました。今後はDX人材育成とデジタル技術を活用したサービス向上・業務効率化の取組みをいっそう図っていきます。

業績では、事業収益全体は、3,096百万円(前期2,966百万円)となり、対前期比で104.4%の増収。内訳は巡回健診、健康増進関連が微増、高岡総合健診センター、とやま健診プラザ、クリニック、介護予防事業で増加。当期経常増減額は、181百万円(前期94百万円)で191.1%の増益となりました。

当事業年度は大きな転換点となる1年となり、皆様の健康を支えるパートナーとして選ばれ続けた結果、事業収益額は過去最高に達しました。

この成長を支え、より安全で質の高い医療サービスを持続的に提供するため、当協会では「人」への投資を最優先課題として取り組み、医師、保健師、看護師、放射線技師ほか、そして事務・システム部門が有機的に連携する強固な組織構造が確立されております。

今後も、健診業務のDX化や先端医療機器の導入を加速させ、地域社会の皆様の健康増進に、より一層貢献してまいります。

Ⅱ. 調査研究および普及啓発事業(継1事業)

1. 調査研究

健診結果データをまとめた事業年報は、令和4年度の1年間分とし、5月に発行しました。研究発表では、AHA Scientific Sessions 2025 や第54回日本総合健診医学会で学会発表を行い、論文発表を2件行いました。

区 分	令和7年度	令和6年度
事業年報	300 件	450 件
研究発表・論文	4 件	4 件

2. 普及啓発

広報誌発行では、事業場や団体、関係機関向けに年4回の配布を実施しました。

健康セミナーは現地参加方式で11月に実施しました。その他、他機関・団体の行うキャンペーンへの協力として施設内ポスター掲示やWebでの広報、事業所へのパンフレット配布を行いました。また、富山県THP推進協議会事務職として富山県産業安全衛生大会での健康増進コーナーにて「血流スコープ」を用いて指先の毛細血管を観察してもらい、生活習慣のチェックを行いました。

区 分	令和7年度	令和6年度
広報誌発行	8,140 部	8,640 部
健康セミナー(参加員数)	186 人	551 人

Ⅲ. 予防医療事業(他1事業)

1. 巡回健診および施設健診

区 分	令和7年度	令和6年度
巡回健診(集団健診)	230,503 件	235,870 件
健康管理センター(施設健診)	23,298 件	23,889 件
高岡総合健診センター(施設健診)	33,785 件	35,645 件
とやま健診プラザ(施設健診)	59,159 件	58,329 件
定期健康診断等	183,759 件	181,465 件
雇入時健康診断	3,357 件	3,116 件
特殊健康診断	38,319 件	38,235 件
その他検査等	39,613 件	33,870 件
生活習慣病健診	55,435 件	62,805 件
ドック健診	7,218 件	7,274 件
住民検診	9,573 件	11,161 件
学校健診	9,471 件	8,899 件
精密検査の勧奨	7,974 事業場	6,732 事業場

※健診コースの分類設定の見直しにより、令和7年度から各項目の集計方法を変更しています。

2. がん検診

区 分	令和7年度	令和6年度
肺がん検診	176,636 件	176,781 件
胃がん検診	43,533 件	43,584 件
大腸がん検診	85,952 件	83,780 件
乳がん検診	21,224 件	21,053 件
子宮がん検診	17,206 件	17,067 件

3. クリニック(千代田循環器内科クリニック)

健康診断後の受診勧奨を通じて循環器内科外来や糖尿病外来、呼吸器内科外来への受診につながるケースが増加し、初診患者数の確保および継続的な健康管理の推進に努めました。

また、業務渉外課および企画調整課と連携し、巡回インフルエンザワクチン予防接種事業を計画的かつ円滑に実施することで、地域企業の健康管理支援に貢献しました。労災二次健診については、対象者への受診調整を積極的に行い、受診率の向上に努めました。

新型コロナウイルス感染症への対応を継続しつつ、通常診療との両立を図り、患者の安全確保に努めました。また、受診導線の整備や感染防止対策の徹底に加え、インフルエンザをはじめとする感染症の予防・拡大防止にも取り組み、安全で円滑な診療体制維持に努めました。

区 分	令和7年度	令和6年度
患者総数	5,311 人	5,196 人
初診患者数	612 人	599 人
労災 2 次健診受診者数	107 人	109 人
新型コロナワクチン接種事業	118 人	174 人

IV. 健康づくり支援事業(他1事業)

1. 健康づくり支援

労働安全衛生法や高齢者医療確保法、健康増進法等に基づき、医師や専門スタッフを職場に派遣し、有所見者に対する保健相談や特定保健指導を行いました。その他、保健・運動・栄養スタッフを派遣し、出張教室を行いました。

また、特定保健指導では昨年から引き続き施設健診当日の初回面接実施とともに巡回健診当日のリモート初回分割面接にも力を入れ件数を増やすことができました。令和2年度から協会けんぽ富山支部より委託を受けて実施している巡回健診当日遠隔面接支援事業については、事務職員等を52会場74人分派遣し対象者313人中198人に対して支援を行いました。

ウェルネスケアセンターで社内外の健康経営支援活動に力を入れるようになり、社内向けには令和7年10月より健康情報の発信や乾燥野菜の設置、体力測定を実施しました。社外向けには健康経営サポートパックを3事業所と契約しました。また、令和7年度も引き続き、とやま健診プラザと高岡総合支援センターにてヘルスリテラシー向上セミナーを毎月1会場1回開催しました。

さらに、重症化予防のための取り組みとして、ホームページで二次検査協力医療機関を紹介し、協

会けんぽ富山支部から委託を受けて実施している要治療者への架電業務も各センターで実施しています。令和7年12月からは糖尿病重症化リスクのある人間ドック受診者に対し受診勧奨のリーフレット送付を開始しました。

区 分	令和7年度	令和6年度
運動・栄養・健康教室(訪問)	24 回	22 回
産業保健相談	783 人	1,017 人
特定保健指導	4,129 人	3,863 人
電話保健相談	301 件	263 件
ヘルスリテラシー向上セミナー	24 回	24 回
要治療者への架電業務	243 件	141 件

2. メンタルヘルス

50 名未満の小規模事業場では、ストレスチェック事後サポート契約「スタートアップ」の付帯を推進し、高ストレス者のカウンセリングやストレスチェック結果に基づくセルフケアセミナーを実施しました。また、年間契約の事業場に対しては、訪問カウンセリングの需要の高さから、カウンセラー追加訪問のオプションプランを作成しました。カウンセリング件数は、令和6年度よりも82件増加し429件となりました。

区 分	令和7年度	令和6年度
教育研修・セミナー	56 回	38 回
EAP(従業員支援プログラム)サービス	76 社	74 社
ストレスチェック(全衛連方式)	42,214 人	44,286 人
カウンセリング	429 回(うち WEB13 回)	347 回(うち WEB13 回)

V. 富山市角川介護予防センター事業(他2事業)

2025 年 4 月 1 日から、市の指定管理委託(5 年間、第 3 期目)の 5 年目をスタートした。利用者数は、76,217 人(2024 年度: 75,680 人、対前年度 101%)、開館からの延べ利用者数は 106 万人となった。

区分	コース	令和7年度	令和6年度
基本事業	QOL ツアー	811 人	746 人
自主事業	運動温泉会員	386 人	359 人
	ビジター	8 人	9 人
	メタボ教室	210 人	177 人
		(特定保健指導 8 人含む)	(特定保健指導 16 含む)
	ロコモ教室	28 人	28 人
	脳活性化教室	96 人	94 人
	フレ卓教室	178 人	193 人
	パーソナルケア	330 人	296 人
	自律神経検査	6	11 人
	フェルデンクライス	68 人	68 人
委託事業	事業対象者事業	122 人	123 人

イベント	気候療法	187 人	148 人
------	------	-------	-------

※人数集計は2月時点

VI. 職員数

(正職員)

	令和7年度	令和6年度
医師	17 名	16 名
看護師・准看護師	41 名	43 名
診療放射線技師	21 名	22 名
臨床検査技師	27 名	26 名
保健師・管理栄養士	15 名	13 名
その他職員	94 名	96 名
合 計	215 名	216 名

VII. 理事会・評議員会の開催

○理事会

第1回	令和7年5月	事業報告、計算書類、評議員会の招集の決定
第2回	令和8年3月	事業計画書および収支予算書の決議

○評議員会

第1回	令和7年6月	事業計画書
-----	--------	-------

■ 附属明細書について

附属明細書に記載が必要事項は財務諸表の注記に記載しており、また事業報告の内容を補足する重要な事項もないため、附属明細書の作成を省略する。